

西日本縄文社会構造論

幸泉 満夫

(徳島県埋蔵文化財センター研究員)

(本文目次)

序章 縄文時代研究をめぐる諸問題	3	IV. 沈線文系土器存続の意義	130
I. 西日本における縄文時代像の見直し	3	V. 小結 一磨消縄文系土器伝播の実態と 中期由来在地型土器群の推移一	136
II. 土器編年の成果と課題	4		
III. 西日本の土器無文化をめぐって	8	第3章 文様系統組成論	
IV. 新たなる研究手法の模索	10	I. はじめに	143
第1章 西日本を構成する小地域圏の認定	21	II. 文様系統組成の検討	154
I. はじめに	21	III. 韓半島南部の検証	217
II. 分析基準	24	IV. 小結 一西日本における土器無文化への階梯	229
III. 土器底部にみる小地域性	26	終章 西日本における縄文時代後期の社会構造	
IV. 小結 一小地域圏の認識と地域間交渉の実態一	100	I. 底部からみた土器製作伝統の並立とその系譜	245
第2章 文様系統論	115	II. 土器文様稀薄化と北部九州型土器組成の成立	250
I. はじめに	115	III. 西日本原始農耕論再考	252
II. 沈線文系土器の分布と地域偏差	116	IV. 石器組成にみる生業形態の変遷	270
III. 沈線文系深鉢の分類と編年	119	V. 結び 一西日本先史社会の生業の画期一	275

⇒ 一般的な土器形式分布圏 (後期) について

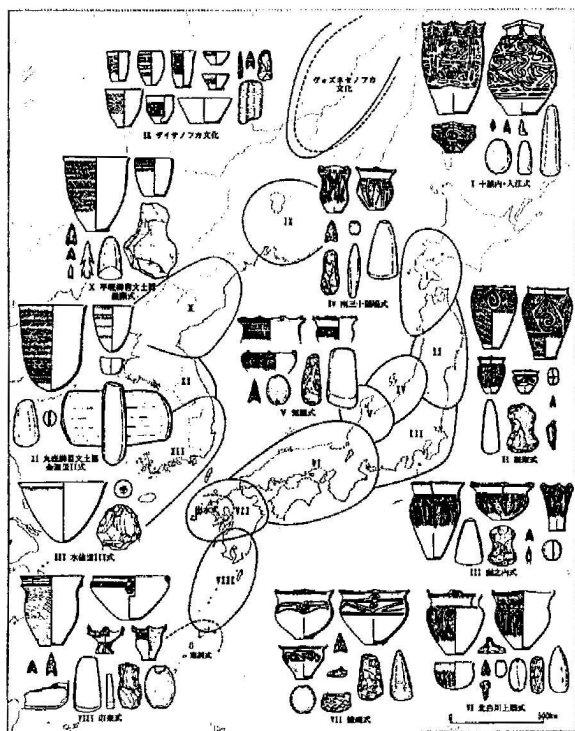


図1. 『図解 日本の人類遺跡』東京大学出版会 (泉・西田1992)

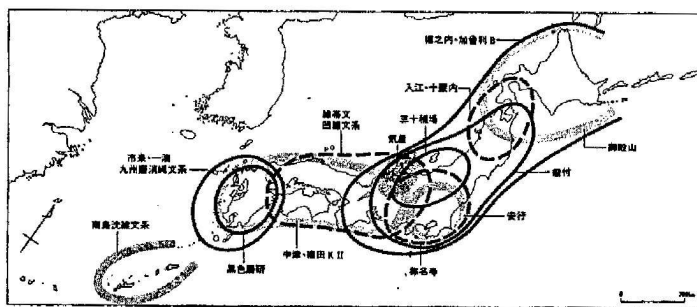


図2. 『縄文土器大観』4、小学館 (小林達雄1989)

	中期末	後期						
有文深鉢								
(時期)	後①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	後期後葉			晩期				
有文深鉢								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	

図3. 縄文後晚期土器の変遷 (瀬戸内周辺深鉢模式図; 幸泉2003)

後①中津 I, ②福田 K2古, ③福田 K2新, ④縄文成立期古, ⑤津家 A古, ⑥津家 A新, ⑦西元, ⑧藤崎 K2古; 藤崎貝塚後期, ⑨藤崎 K2新; 大宮後葉, ⑩萩/島 6~3層, ⑪⑫福田第四期, ⑬津原 (黒土 B1), ⑭谷尻 (黒下層), ⑮南方新池, ⑯広江・浜 (黒土 B2), ⑰津島岡大男子学生寮13層, ⑱天田高橋手 B土器層13・14

(挿図出典)

- 阿部芳郎編1994『津島岡大遺跡4—第5次調査—』岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
- 井澤洋一1996『桑原遺跡群』2、福岡市教育委員会
- 泉 拓良・西田泰民1992『道具の組合わせ 後期』『図解 日本の人類遺跡』東京大学出版会
- 上野佳也1983『情報の流れとしての縄文土器型式の伝播』『民族学研究』第44巻第4号、日本民族学会
- 大庭泰時1993『野多目枯渡遺跡』4、福岡市教育委員会
- 岡崎雄二郎・成瀬和久編2000『九日田遺跡』松江市教育委員会
- 神柱靖彦編2002『貝谷遺跡』島根県教育委員会
- 工藤俊樹・富山正明1987『第5章 遺物』『鳴鹿手島遺跡』福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
- 幸泉満夫1999『西瀬戸内における九州系縄文土器』『真朱』徳島県埋蔵文化財センター
- 幸泉満夫2001『西日本縄文後期土器組成論』『考古学研究』第48巻第3号、考古学研究会
- 幸泉満夫2002a『縄文時代後期土器の非視覚的領域』『論集 徳島の考古学』徳島考古学論集刊行会
- 幸泉満夫2002b『土器底部形態にみる縄文時代後期社会の地域性』『四国とその周辺の考古学』犬飼徹夫先生古稀記念論集刊行会
- 幸泉満夫2003『土器底部から見た縄文社会の地域性』『瀬戸内海考古学研究』十周年記念大会資料、瀬戸内海考古学研究会
- 小林達雄1989『縄文土器の様式と型式・形式』『縄文土器大観』4、小学館
- 坂田邦洋1976『Ⅲ志多留貝塚』『対馬の考古学』縄文文化研究会
- 坂本嘉弘1989『佐知遺跡』大分県教育委員会
- 新東晃一・堂込秀人1991『川上(市来)貝塚』市来町教育委員会
- 芋阪良二1977『眼球運動と形態知覚』『講座 心理学4 知覚』東京大学出版会
- 鄭 澄元1981『金海水佳里貝塚』Ⅰ、釜山大学校博物館
- 出原恵三編1992『松ノ木遺跡』Ⅰ、本山町教育委員会
- 中野良一編1994『四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ—鶴来が元遺跡—』愛媛県埋蔵文化財調査センター
- 中村 徹1981『縄文土器』『布勢遺跡発掘調査報告書』鳥取県教育文化財団
- 西尾幸則1989『道後城北RNB』『松山市埋蔵文化財調査年報』Ⅱ、松山市埋蔵文化財センター
- 二宮忠司・渡辺和子1983『四箇周辺遺跡調査報告書』(5)、福岡市教育委員会
- 平井 勝編1993『百間川沢田遺跡』3、岡山県教育委員会
- 藤川智之2003『矢野遺跡(Ⅱ) 縄文時代篇』徳島県埋蔵文化財センター
- 藤永正明編1987『淡輪遺跡発掘調査概要報告書』Ⅳ、大阪府教育委員会
- 藤原彰子編1991『山居遺跡』広島県埋蔵文化財調査センター
- 前田光雄編2000『松ノ木遺跡』Ⅴ、本山町教育委員会
- 松崎寿和1951『広島市比治山貝塚』『広島懸史蹟名勝天然記念物報告』第6輯、広島県教育委員会
- 宮本一夫1990『文京遺跡第11次調査出土の縄文土器の検討』『文京遺跡第8・9・11次調査』愛媛大学埋蔵文化財調査室
- 宮本一夫編1994『江口貝塚』Ⅱ、愛媛大学考古学研究室
- 宮本一夫編1996『萩ノ岡貝塚』愛媛大学法文学部考古学研究室・上浦町教育委員会
- 柳澤昭彦・根木智宏1997『百間川沢田遺跡』『百間川兼基遺跡3・百間川今谷遺跡3・百間川沢田遺跡4』岡山県教育委員会
- 柳澤昭彦編1999『田益田中(国立岡山病院)遺跡』岡山県教育委員会
- 山本 清1961『西山陰の縄文式文化』『島根大学山陰文化研究紀要』第1号、島根大学
- 米沢義光ほか1986『真脇遺跡』能登町教育委員会・真脇遺跡発掘調査団
- 米原公子1987『縄文遺跡の調査』『森藤第1・森藤第2遺跡発掘調査報告書』東伯町教育委員会
- 渡辺友千代編1990『石ヶ坪遺跡』匹見町教育委員会
- 渡辺 誠編1975『京都府舞鶴市桑飼下遺跡発掘調査報告書』舞鶴市教育委員会
- 綿貫俊一ほか1991『川南原遺跡群』大分県教育委員会